

誰一人取り残さない防災対策：避難所における障がい者支援

本年1月1日の能登半島地震により、犠牲となられた方々に心よりお悔み申し上げます。今もなお被災地にて避難生活を余儀なくされている皆様に心からお見舞い申し上げます。

千葉県は能登半島など被災地に多数の職員を派遣しています。石川県では要配慮者の支援が十分ではないことが指摘されています。避難所等で生活する障がいのある方の支援については、障がい特性等により特段の配慮が必要となることから、避難所運営を行う側は必要な支援や情報伝達を行えるように事前に留意しておくべきです。車イスを利用する方、盲導犬と生活している方、聴覚や視覚に障がいのある方々が避難所にて取り残されないように、当事者を交えた訓練等を実施することは意義があると考えます。

代表質問 障がい者や盲導犬が参加できる訓練を行うべきではないか。また、市町村職員に限らず支援のために派遣されることが想定される県職員も含めて、避難所における障がい者の対応等も訓練すべきではないか。

副知事答弁 ●県職員も要配慮者への支援に必要な知識の習得に努め、被災地支援に派遣された職員の避難所での経験を共有するなど、災害時の避難所運営に備えた取組を進めていく。

●市町村と連携して実施する土砂災害や津波からの避難訓練に、障がい者など配慮が必要な方にも参加していただくなど、より効果的な訓練の実施に努めていく。

実現！ 県道船橋我孫子線の我孫子市栄地先における道路冠水対策

我孫子市栄地区の住民より、県道船橋我孫子線栄地先の道路が台風や大雨の度に排水口から水が吹き出したり、道路が冠水するなどのご指摘をいただき、議会にて早急な対応を要望していました。

その結果、県に令和5年度内に予算をつけていただき、出水期に間に合うよう工事着工。写真のような形で現状の排水ルートを変更し、吹き出さずに流れるようになります。



前進！ 水野ゆうき提案『公共施設における生理用品無償提供』へ！

千葉県は県内各市町村や県機関に対し、実状に応じて生理用品の無償提供の今後の取り組みについて検討するよう依頼する通知文書（令和6年2月8日付）を发出了しました。

これは昨年9月定例県議会の代表質問にて水野ゆうきが提案した政策です。様々な家庭環境や経済状況によって児童生徒はじめ、女性が生理用品の購入が困難になったりする事例が増えており、特に子どもだと学校で言い出しにくいことや突発的に生理になった時の応急対策として、学校のみならず公共施設でいざという時のために生理用品を準備すべきという提案です。千葉県として大きな一歩を踏み出しました。

水野ゆうきの活動



●熊谷知事と手賀沼エコマラソン完走（ハーフマラソン）

10月に開催されました『手賀沼エコマラソン』にくまがい知事と出走する約束をし、大会までの間、くまがい知事に励まされながら練習を重ねてきました。これまで全くランニング経験はなかったですが、沿道の声援にも助けられ、無事に21.0975kmを完走しました！ 白井梨マラソン大会では一般女子10kmの部で64位でした。



●各大学にて講義

母校・津田塾大学はじめ東洋大学など各大学にて講義を行っています。



●防災キャンプ@白山中学校

地域の様々な防災訓練に参加して、共助の大切さを学んでいます。



●我孫子駅北口花壇整備

AKB（我孫子駅北口美化）のメンバーとして花壇整備。

水野ゆうきのプロフィール

1983年2月19日生。我孫子市生まれ・育ち・在住。我孫子市立第四小学校入学。父の転勤で米国へ移住。米国ロサンゼルス現地小学校卒業、ロサンゼルスインターナショナルスクール編入。帰国後は茨城県私立茗溪学園中学校編入、同校高校卒。津田塾大学学芸学部国際関係学科卒。民間企業に勤務後、2011年我孫子市議会議員選挙最年少当選。2015年、2019年、2023年千葉県議会議員選挙3期連続当選。現在、千葉県議会女性最年少議員。

